

補助金の交付状況に係る調書【平成30年度交付分】

補助金の名称	国際会議開催補助金		市の担当部課	経済環境部観光交流課	
			問い合わせ先	0568-44-0343	
補助金の交付を受けた補助事業者の名称	日中強誘電体応用会議組織委員会 はじめ2団体		代表者名	坂本 渉 ほか	
関係規定	法令	—		条例	—
	規則等	犬山市補助金等交付規則		要綱	国際会議開催補助金交付要綱
補助事業者の選定方法 (公募又は特定団体)	公募により選定		補助開始年度	平成13年度	補助終了年度 未設定
特定団体への補助の理由 (公募で選定しない理由)	—				
市が補助金を交付する 公益上の必要性 (何をどうしたいのか)	国際観光センターでの国際会議の開催が期待できるとともに、国際会議参加者への犬山市のPRにもつながる。				
補助金の額  ( )は一般財源の額	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度予算	
	119,140 円	188,000 円	174,080 円	300,000 円	
	(119,140 円)	(188,000 円)	(174,080 円)	(300,000 円)	
市の補助金を使って 実施した事業の内容	海外からの外国人が参加する国際会議で使用したフロイデ会議室(附属備品を除く)の使用料の半額を補助				
補助金の使途	補助事業者の会計全体の決算額(支出)		—		
	うち補助事業全体の経費		496,675 円		
	うち補助対象経費		174,080 円		
	補助対象経費の内訳		フロイデホール	88,525 円	
			控室1	2,690 円	
			特別会議室	8,160 円	
			多目的研修(1・2)	27,760 円	
			研修室(1・2)	15,380 円	
会議室1			18,175 円		
会議室2	7,215 円				
会議室3	6,175 円				
補助額の算出方法	補助率、補助額		附属設備を除く使用料1/2		
	補助限度額		犬山国際観光センター(附属設備使用料は除く)の額の2分の1		
	精算の有無 (変更交付)	無	その理由	交付申請書兼実績報告書に基づき審査し、交付決定しているため精算の必要なし	
補助金を交付して 市が得たメリット (何がどうなったのか)	犬山国際観光センターを会場とする国際会議の誘致につながっている。国際会議の開催により、経済・産業・学術・文化及び国際交流の振興に寄与している。				
その他参考事項	—				
	補助事業者の会計全体の余剰額(繰越額)		—		
	うち補助事業全体の余剰額(繰越額)		—		
補助事業者が補助金とは別に市から委託業務を請け負っているかの有無					—

※平成30年度の実績に基づき作成しています。